

日本共産党えんど久子前市議ら現地調査し声を上げる

アメリカの  
好き勝手に

# オスプレイ飛ばすな！

隠へい 体質を目的の当たりに

8月29日午後6時34分、米軍のオスプレイが大分空港に緊急着陸した件で、9月7日日本共産党副委員長の山下芳生参議院議員、田村貴昭衆議院議員、堤栄三県議などは大分空港事務所で、九州防衛局や国交省から聞き取り調査をしました。大塚光義衆議院大分3区予定候補・えんど久子県議予定候補も同席。

どちらのエンジンを取り替えたのかに質問に、九州防衛局は「わからない」との答え。両エンジンを取り換えたと報道されています。この隠へい体質に「国民を守る姿勢が全くない」とえんど久子らは九州防衛局を批判しました。



「オスプレイは日本の空を飛ぶな」と声を上げるえんど久子県議予定候補（右から3人目）、国東市の白石徳明さん（右から2人目）ら。マスコミの取材も受けました。  
大分空港近くの高台にて 2017. 9. 6.



オスプレイの近くで米軍のコーベル大佐から話を聞く山下よしき参議院議員（右から二人目）田村貴昭衆議院議員（右端）堤栄三県議（左端）ら。現地調査をした国会議員は日本共産党だけ。駐機場で調査をしたのはこの時だけです。

大分空港にて 2017. 9. 7.

## 白煙や発火は通常と米軍

許可を取り、山下芳生参議院議員らはオスプレイの近くまで行き、米軍のコーベル大佐から事故時の状況等聞きました。「白煙が出るのはナセルを動かす時にオイルが下にたまりそれが発火するもので通常あることだ」とコーベル大佐。発火してもよくあることと涼しい顔をしていることに驚きです。大分県の上空を常にこんな危険なオスプレイが飛んでいるのです。しかも、その情報は、大分県もつかめていない。アメリカの好き勝手に、やりたい放題です。

# 日本共産党 県政ニュース

別府市石垣西8-2-31  
日本共産党北部地区委員会  
発行責任者 えんど久子  
Tel.0977-22-6576

No. 10  
2017.9.13.

えんど久子のホームページはっぴーえんど・どっとねっとをぜひご覧ください

えんど久子前市議大塚光義3区予定候補ら国会議員と防衛省に抗議

# 税金つぎ込み オスプレイ買うな!

オスプレイが離陸した8日、福岡市で真島省三・田村貴昭両衆議院議員、仁比聡平参議院議員（写真左から順に）九州7県の共産党代表が九州防衛局に申し入れ、オスプレイの日本上空の飛行禁止、日本からのオスプレイ部隊の撤退を強く求めました。大塚光義衆議院大分3区予定候補・えんど久子県議予定候補も参加しました。

## 離陸の前日に大量の白煙

テスト飛行をすると言うが先延ばしになり「飛ぶ飛ぶ詐欺や」という声が出るほど先が見通せない中、7日午後2時ごろ大分空港のオスプレイは機体が隠れるほどの白煙を上げました。右左のエンジンを取り換えて10日間も修理・整備して大量の白煙を上げるなんて欠陥機でしょう。

ところが、その翌日の9月8日オスプレイは午前10時35分に離陸し岩国基地へ直陸しました。



## 防衛省はアメリカでなく国民を守れ

8日の福岡市での申し入れで「きのうはどの地点で何時何分に異常を察知し空港に連絡があったのか聞いたが、今日の資料にもない。どういうことか」とえんど久子。「米軍の運用に関することで承知していない」と防衛局。

Q「岩国への帰還ルートは？  
その後はどこに行くのか？」  
A「知らない」 Q「防衛省

として安全確認したのか？」  
A「していない」と、アメリカ言いなりの姿勢が露骨です。

「アメリカが安全だと言ったら黙って確認もしないで飛行を許すのか！」  
「防衛省って何を守るのか。国民の命と暮らしを防衛するんじゃないのか」と私たちは口々に抗議しました。

## オスプレイは1機100億円

日本政府はオスプレイを国民の税金で17機も買い自衛隊に配備する予定です。そうなれば自衛隊員の命も心配です。

オスプレイの機体は1機100億円前後、維持費は1機あたり年間13億円。4機分の購入費と年間維持費で別府市の年間予算に相当します。  
年金が減って暮らしが大

変だという声が切実な中、巨額の税金をつぎ込み危険なオスプレイを購入するのはやめて、国民の暮らしや社会保障のために使うべきです。

「国民の税金でオスプレイを買うな。オスプレイは日本の空を飛ぶな。アメリカ言いなりはやめろ」とご一緒に声を上げましょう。